

会 議 録

会議名 (審議会等名)	平成27年度第2回小金井市奨学資金運営委員会		
事務局事務 (担当課)	小金井市教育委員会学校教育部庶務課		
開催日時	平成27年10月30日(金) 午後3時00分から午後3時45分まで		
開催場所	小金井市役所第二庁舎801会議室		
出席委員	鮎川委員長、佐藤委員長職務代理者、福元委員、末松委員、 斉藤委員、坂本委員、塚田委員		
欠席委員	不破委員		
事務局	川合学校教育部長、河田庶務課長、中島庶務係長、松下庶務 係主任		
傍聴の可否	可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一 部不可の場 合はその理 由			
会議次第	1 平成27年度奨学生及び奨学資金の運営状況について 2 平成28年度奨学資金の運営について 3 その他		
会議結果	1 平成27年度奨学生及び奨学資金の運営状況について 事務局より次の事項について報告した。 (1) 選定結果 (2) 辞退結果 2 平成28年度奨学資金の運営について (1) 事務局より次の事項について配布資料に基づき説明 ア 平成27年度26市奨学資金制度について イ 過去10年の小金井市奨学資金支給状況 ウ 都立高等学校授業料の推移		

- エ 平成27年度奨学生選定各評価基準等
- オ 平成28年度小金井市奨学資金の運営について
- カ 過去3年の奨学資金制度の改正点
- キ 高等学校等就学支援金について
- ク 小金井市の財政状況等

(2) 平成28年度奨学資金の運営について（諮問案）

- ア 本市の財政状況や他市の動向を踏まえたうえで、本市の奨学資金のあり方を熟慮し、次年度も引き続き前年度と同様の運用とする。
- イ 上記（ア）を踏まえ、支給単価についても、高校生及び高等専門学校生は一人当たり5,300円、大学生及び高等専門学校生は一人当たり12,200円とする。
- ウ 奨学生の選定についても、別紙「奨学生選定各評価基準」に基づく選考とする。

(3) 委員意見等

- ・ 外的要因に因らずに、小金井市の制度として子どもを支援するという姿勢を見せ、是非この制度を存続させてほしい。歴史のあるこの制度を存続させるべきだ。
- ・ 金額・人数を少なくしても給付を続けてほしい。
- ・ 一回やめてしまったらなかなか制度の復活は難しい。
- ・ 市長も議会も教育に熱心であるので、委員会として制度の存続をしていきたい。
- ・ 来年度も今年並みの方向でいいと思います。
- ・ 財政効率を短期的に考えずに長期的に考えて、制度の継続をしたほうがいい。
- ・ いろいろな家庭を見てきているが、現実はとても厳しいので制度を存続させてほしい。教育は最大の投資である。
- ・ 高等学校の授業料の無償化で多くの市が制度の廃止をしています。小金井市は存続してくれた。教育をととても大切にしている市であると思う。今後も制

	<p>度の存続をお願いしたい。</p> <p>(4) 平成28年度奨学資金の運営について（答申案）</p> <p>ア 本市の財政状況や他市の動向を踏まえたうえで、本市の奨学資金のあり方を熟慮し、次年度も引き続き前年度と同様の運用とする。</p> <p>イ 上記（ア）を踏まえ、支給単価についても、高校生及び高等専門学校生は一人当たり5,300円、大学生及び高等専門学校生は一人当たり12,200円とする。</p> <p>ウ 奨学生の選定についても、別紙「奨学生選定各評価基準」に基づく選考とする。</p>
<p>提出資料</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 小金井市奨学資金運営委員会委員名簿 2 平成27年度26市奨学資金制度について 3 過去10年の小金井市奨学資金支給状況 4 都立高等学校授業料の推移 5 平成27年度奨学生選定各評価基準等 6 平成28年度小金井市奨学資金の運営について 7 過去3年の奨学資金制度の改正点 8 高等学校等就学支援金について 9 小金井市の財政状況等